

一般口演 6月21日(金)

タイトル	月日	時間	会場	プログラム 番号	演題情報 受付番号	氏名 姓	氏名 名	タイトル
エコー検査の有用性	6月21日(金)	9:30-10:10	第1会場	1-01	C000013	福原	信一	急性呼吸不全患者における肺エコーの有用性
				1-02	C000042	内田	正志	腹部エコーが診断の方向付けに有用だった新生児先天性消化管狭窄症の2例
				1-03	C000138	田中	潔	小児急性虫垂炎診断における超音波検査・CT検査の意義
				1-04	C000193	大石	高稔	超音波検査による精巣捻転症の用手的整復後評価
ピットフォール症例から学ぶ1	6月21日(金)	10:40-11:40	第2会場	2-01	C000108	西塔	翔吾	炭酸飲料多量摂取後に発症した幼児胃破裂の1例
				2-02	C000026	後藤	悠大	小児重症膝外傷における保存的療法の有用性と外科的介入の必要性
				2-03	C000043	内田	正志	臨床像とエコー所見が乖離し、手術の決定に迷いが生じた急性腹症の2例
				2-04	C000114	矢部	清晃	ピットフォール症例から学ぶー開腹歴のない腸閉塞症例の検討ー
				2-05	C000134	山内	勝治	小児鈍的腹部外傷後の遅発性小腸狭窄の2例
				2-06	C000208	吉村	翔平	右横隔膜下膿瘍、膿胸が病態の主体であった急性虫垂炎の1例
アレルギー・中毒	6月21日(金)	16:40-17:50	第2会場	2-07	C000209	比留間	昭太	繰り返し調理に使用していたお好み焼き粉によるアナフィラキシー症状を呈した1例
				2-08	C000011	野田	あんず	即時型反応はGrade1~2だったが、二相性の経過でアナフィラキシーショックに至った2症例
				2-09	C000053	若林	尚子	経口免疫療法中の食物アレルギー患児のアナフィラキシーリスク因子についての検討
				2-10	C000083	田中	誠治	トリアムシロンアセトニド皮下注でアナフィラキシーの発症が疑われた通年性アレルギー性鼻炎の
				2-11	C000203	古賀	健史	リラクゼーション・呼吸療法によりエビペン®使用頻度が減少した一例
				2-12	C000142	山本	大貴	新生児早期に胆汁性嘔吐で急性発症した新生児-乳児消化管アレルギーの一例
				2-13	C000050	藤森	誠	当院3年間に於けるタバコ誤飲43件データの検討:非燃焼・加熱式タバコ誤飲事故増加の現状
地域連携1	6月21日(金)	9:00-9:50	第3会場	3-01	C000148	篠原	真史	救命救急センターにおける小児重症外傷診療の現状と課題
				3-02	C000018	石川	祥一朗	愛知県ドクターヘリは重症小児患者病院間搬送の切り札である!
				3-03	C000086	問田	千晶	地域連携における横浜市重症外傷センターの果たす役割
				3-04	C000098	箕浦	啓宣	消防局が起動する二次医療機関と小児三次医療機関の小児院外CPAIに対する診療連携
				3-05	C000147	後藤	保	小児救急集中治療体制構築のための方路
地域連携2	6月21日(金)	9:50-10:30	第3会場	3-06	C000060	石原	唯史	千葉県内における重篤小児患者診療実態と課題
				3-07	C000162	山田	耕嗣	重症心身障害児に対する地域連携の取り組み
				3-08	C000072	野澤	正寛	在宅医療における地域での「救命の輪」の構築ードクターヘリ基地病院と慢性期かかりつけ病院と消防の連携ー
				3-09	C000181	田浦	康明	在宅診療を主とする重症心身障害児の緊急手術における治療経過について
多職種連携	6月21日(金)	10:40-11:30	第3会場	3-10	C000047	多加喜	望	マラソゴール後に心肺停止となり、進行する横紋筋融解症の両大腿切断により救命し得た拡張型心筋症の1例
				3-11	C000089	中村	侑暉	初期研修医の立場における救命救急センターでの小児グリーンケアの経験ー院内指針を活用して
				3-12	C000116	古野	憲司	小児でも血液培養複数セット採取を推奨し手順を標準化することは有効だったのかー多職種での推奨活動を振りかえるー
				3-13	C000145	尾上	泰弘	WBGT(暑さ指数)を活用した熱中症の予防:小中学校・クラブ活動・医療現場などの多職種連携で一人でも多くの熱中症患者を減らすために。
				3-14	C000176	福島	亮介	当院における消防組織、救急隊、救急救命士との連携
外傷1	6月21日(金)	13:50-14:50	第3会場	3-15	C000061	齊間	貴大	2歳未満の乳幼児における頭蓋骨骨折線の特徴
				3-16	C000062	齊間	貴大	2歳未満の乳幼児における頭蓋骨骨折線と間違いやすい正常変異所見
				3-17	C000037	岩田	賢太郎	中枢性無呼吸のため人工呼吸管理を要した軽微な受傷機転による頭部外傷の男児例
				3-18	C000221	平岡	聡	当院における小児脳震盪の臨床的検討
				3-19	C000113	杉立	玲	和文誌における2歳未満の硬膜下血腫の文献的検討:第3者目撃のある低エネルギー性損傷の重篤事例の有無
				3-20	C000070	余湖	直紀	PICUに入室した小児頭部外傷患者の予後
外傷2	6月21日(金)	14:50-15:40	第3会場	3-21	C000141	杉峰	啓憲	相撲の練習中に惹起された外傷性椎骨動脈解離の一例
				3-22	C000194	蓮沼	もも	耳掻き時の外傷により耳小骨離断をきたした1例
				3-23	C000211	石川	暢己	術中主肺管断裂を認め臍体尾部切除となった高エネルギー外傷の1例
				3-24	C000135	吉丸	耕一朗	小児外傷性単独脾損傷29例の検討(多施設共同研究)
				3-25	C000136	嶽間澤	昌泰	当センターにおける小児外傷に対する血管内治療(IVR)の検証

一般口演 6月22日(土)

タイトル	月日	時間	会場	プログラム 番号	演題情報 受付番号	氏名 姓	氏名 名	タイトル
腎・内分泌・腫瘍	6月22日(土)	9:00-10:00	第1会場	1-05	C000077	杉	悠	骨髄炎の治療後に、尿管結石嵌頓による一過性の腎虚血と水腎症をきたした1例
				1-06	C000192	飛田和	えりか	重症新生児仮死による急性腎障害に対し持続腹膜灌流で救命した一例
				1-07	C000110	長嶺	あかね	難治性慢性ITP経過中に頭蓋内出血を合併し、ITP発症から4年の時を経てSLEの診断に至った一例
				1-08	C000153	梅原	直	偽性低血糖を呈した生後1か月男児の1例
				1-09	C000157	堀池	正樹	化学療法開始前に腫瘍破裂をきたし緊急手術を行った肝芽腫の1幼児例
				1-10	C000216	深谷	悠太	気道閉塞による意識障害で救急搬送された頸部リンパ管腫の1例
看護	6月22日(土)	11:00-11:50	第2会場	2-14	C000128	川西	貴志	家庭内の事故で看護外来を受診することによる認識の変化
				2-15	C000172	瀬川	千春	小児在宅医療における受診タイミングの判断と対応～小児に関わる訪問看護師への支援～
				2-16	C000090	宮園	直人	小児早期警告スコアリングシステム(PEWS)の導入によるバイタルサイン測定回数の変化
				2-17	C000169	岡野	則子	当院における心肺停止状態搬送後死亡事例の現状報告とそこから見える課題
ピットフォール症例から学ぶ2	6月22日(土)	13:10-14:10	第2会場	2-18	C000223	池原	遥	PICUにおけるターミナルケア～家族の思いを大切にしたい関わり～
				2-19	C000190	差波	新	衝心脚気にて発症したビタミンB1欠乏の3例
				2-20	C000107	落合	健太	なぜ硬膜下血腫は見逃されたのか? ～嘔吐を主訴に外来受診した硬膜下血腫の1例から～
				2-21	C000063	福島	正大	重症熱中症における、中枢温評価と早期冷却の重要性
				2-22	C000106	永瀬	静香	川崎病罹患後に急性脳炎・脳症を合併した3例の臨床的検討
				2-23	C000059	中村	裕子	救命できず、病理解剖にて診断に至った左冠動脈肺動脈起始症の一例
ピットフォール症例から学ぶ3	6月22日(土)	14:10-15:20	第2会場	2-24	C000195	古形	修平	急性腹症として来院した劇症型心筋炎の1例
				2-25	C000084	諸岡	雄也	骨膜下膿瘍を伴う眼窩蜂窩織炎加療中に硬膜外膿瘍に進展した一例
				2-26	C000102	山本	英一	咽頭炎、頸部リンパ節炎から急速に波及した急性喉頭蓋炎の一例
				2-27	C000111	東間	未来	気管内挿管のピットフォール～後天性喉頭気管狭窄症(ALTS)～
				2-28	C000091	高瀬	章弘	周期性嘔吐症と繰り返し診断をうけていたGitelman症候群の8歳女児例
				2-29	C000168	根本	悠里	急性腹症の精査中に判明したOHVIRA症候群の1例
医療体制・搬送	6月22日(土)	15:20-16:00	第2会場	2-30	C000109	西塔	翔吾	尿道結石嵌頓に対する経尿道的結石破碎術
				2-31	C000036	青木	義紘	腹膜透析中に著明な低Na血症をきたした1歳女児例
				2-32	C000159	奥村	純平	ECMO装着の可能性があると依頼され入室した緊急入室症例の臨床経過
				2-33	C000207	尾野	花純	当院における小児来院時心肺停止例の対応:現状と課題
				2-34	C000094	多賀谷	貴史	小児救急医療における遠隔画像共有システムの有用性
				2-35	C000140	寺井	勝	新生児から移行期患者まで対応可能な小児救急医の育成を目指して
蘇生・突然死	6月22日(土)	16:00-16:40	第2会場	2-36	C000054	武藤	雄一郎	当院小児救命救急センター開設後の小児院外心停止症例の検討
				2-37	C000205	地行	健二	当院における小児溺水症例の経験 ～予後不良因子を考える～
				2-38	C000131	松永(藤浪)	綾子	乳幼児突然死・ALTEと先天代謝異常症 -遺伝疾患を見逃さないために-
				2-39	C000014	宮本	朋幸	乳幼児突然死症候群の診断に必ず警察介入が必要か? -医師法21条の解釈について-
医療安全の確立を目指した試み	6月22日(土)	9:00-9:50	第3会場	3-26	C000155	神蘭	淳司	乳幼児における「病院前意識障害」病歴聴取の重要性と課題
				3-27	C000166	神蘭	淳司	小児低血糖の早期認識にバイタルサインの評価は有用か?
				3-28	C000071	芳賀	大樹	総合病院における全年齢(新生児～高齢者)対応 院内急変対応システムの確立と効果
				3-29	C000039	問田	千晶	救命救急センターでの重篤小児診療における安全の確立を目指した試み
				3-30	C000085	土金	真人	当院における静注アセトアミノフェン製剤過量投与10件の検討
				3-31	C000095	篠田	邦大	GPT介入依頼基準を作成して ～第1報:作成前後の変化～
虐待と家族支援	6月22日(土)	9:50-10:40	第3会場	3-32	C000213	神蘭	淳司	Serious Case Reviewを取り入れたことも虐待院内多機関検証会の活動報告と展望
				3-33	C000052	佐々木	真之	虐待が疑われたが長期の一時保護をせずに経過を追跡できた症例の検討
				3-34	C000218	高橋	英城	偶発的事故に対する支援的介入の必要性における検討
				3-35	C000066	藤野	美里	両側のbucket handle fractureにより虐待が疑われた乳児例
				3-36	C000066	吉橋	知邦	黄色ブドウ球菌の菌血症による敗血症性肺塞栓の2例
感染・免疫1	6月22日(土)	10:40-11:40	第3会場	3-37	C000079	友政	弾	当院で経験した敗血症患者の検討
				3-38	C000121	井口	晃宏	両側腋下痛で発症したMRSAによる重症ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群
				3-39	C000217	東	加奈子	当院集中治療センターにおける多剤耐性菌感染症発症リスクの検討
				3-40	C000104	早野	駿佑	human herpesvirus 6感染による横紋筋融解症の1例
				3-41	C000132	竹田津	原野	突発性発疹症では、プロカルシトニンは容易に上昇する—入院小児87例での検討—
				3-42	C000005	佐々木	吉明	基礎疾患のない男児に認められた胸椎硬膜外膿瘍
感染・免疫2	6月22日(土)	13:10-14:00	第3会場	3-43	C000022	谷村	聡一郎	両側大腿部の筋肉痛を主訴に当科受診し、感染性心内膜炎の診断に至った一例
				3-44	C000064	鎌田	さつき	打撲傷を契機として発症した小児の化膿性筋炎の2例
				3-45	C000048	鮫島	智大	小児尿路感染症に対する救急外来での尿グラム染色の有用性について
				3-46	C000025	佐々木	吉明	異なる経過を認めたB型肝炎ウイルス父子感染姉妹例
トリアージ	6月22日(土)	14:00-15:00	第3会場	3-47	C000126	渡部	誠一	#8000情報収集分析事業2018
				3-48	C000164	六車	崇	#7119事業における小児相談事例の現況 -横浜市救急相談センターにおける実績-
				3-49	C000177	望月	彩子	当センター独自のアンダートリージ検証～アンダートリージ件数減少に向けての取り組み～
				3-50	C000206	神蘭	淳司	Five-Breaths法および従来法による小児期呼吸数測定の比較とトリージレベルへの影響
				3-51	C000118	佳元	恵美	救急外来におけるトリージ区分の検証～従来のトリージ区分とPEWSS一次評価の比較から～
				3-52	C000009	坂本	昌彦	発熱を主訴とした児の外来受診における保護者の受療行動および情報収集の傾向
集中治療	6月22日(土)	15:00-16:10	第3会場	3-53	C000133	松永(藤浪)	綾子	新生児高アンモニア血症にカルグルミン酸が著効した1例
				3-54	C000073	潮見	祐樹	百日咳感染に二次性血栓性微小血管症(TMA)を合併した早期乳児の一例
				3-55	C000182	廣瀬	陽介	出生直後にRSウイルスに感染し重症化した心房中隔欠損症を伴う21トリソミーの1例
				3-56	C000191	土持	皓平	著明な高ナトリウム血症を認めた高張性脱水の幼児例
				3-57	C000029	金子	尚樹	瞳孔記録計により適切なタイミングで治療介入ができた頭蓋内出血の1例
				3-58	C000225	清水	隆弘	second look手術時の腸管血流評価にICG蛍光イメージングを用いて治療した絞扼性イレウスの一例
				3-59	C000041	笠木	実央子	単施設PICUにおける脳機能停止診断プロセスの検討

一般口演 6月22日(土)

タイトル	月日	時間	会場	プログラム 番号	演題情報 受付番号	氏名 姓	氏名 名	タイトル
調査・研究	6月22日(土)	16:10-16:50	第3会場	3-60	C000219	沼口	敦	愛知県におけるチャイルド・デス・レビュー:調査から検証へ
				3-61	C000149	中林	洋介	群馬県における小児死亡事例検証結果と活用方法のあり方
				3-62	C000171	六車	崇	乳幼児院外心停止に対する口頭指導の課題 -音声記録の解析から-第4報-
神経1	6月22日(土)	9:00-10:00	第4会場	3-63	C000154	神蘭	淳司	De Ritis Ratio(AST/ALT:トランスアミナーゼ比)の小児期基準値作成とその臨床応用
				4-01	C000078	木原	裕貴	当院へ救急搬送された初回熱性けいれん症例330例の検討
				4-02	C000151	小林	寛太郎	熱性けいれん後24時間以内の再発率についての前方視的検討
				4-03	C000120	奥村	遼	けいれん発作のため救急搬送された小児症例の検討
				4-04	C000200	中澤	美賀	けいれん発作を主訴に来院したビタミンD欠乏性低カルシウム血症の一乳児例
				4-05	C000201	松浦	隆樹	小児の頻発発作と遷延性発作に対するlevetiracetam静注療法の薬物動態
神経2	6月22日(土)	10:00-10:50	第4会場	4-06	C000080	後藤	保	小児痙攣重積患者に対する迅速な薬剤投与の必要性とその方略
				4-07	C000180	高村	一成	頭部MRIで著明な画像変化を認めたが比較的良好な経過を辿っているAESDの1例
				4-08	C000122	大塚	里奈	可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎脳症(MERS)に大脳・小脳白質病変を伴い、小脳炎を合併し
				4-09	C000081	今村	友彦	劇症型心筋炎と鑑別を要した、脳幹脳炎(心肺不全例)の1例
				4-10	C000199	岩崎	卓朗	急性壊死性脳症(ANE:Acute Necrotizing Encephalopathy)の2例
神経3	6月22日(土)	10:50-11:40	第4会場	4-11	C000152	上杉	まどか	溶血性尿毒症症候群に対して神経症状を認めない時期にCHDFを開始したが、7時間で脳症を発症し救命し得なかった一例
				4-12	C000088	横山	智美	喘息による呼吸不全後に発症した急性弛緩性脊髄炎の一例
				4-13	C000186	柴沼	栄希	顔面神経麻痺で発症した急性弛緩性脊髄炎の1例
				4-14	C000123	中村	亮太	発熱と尿閉を呈し、診断に苦慮した急性散在性脳脊髄炎(ADEM)の一例
消化器	6月22日(土)	9:00-10:00	第5会場	4-15	C000129	宮本	和幸	頭部打撲で来院し診断に苦慮した小児脳梗塞の1例
				4-16	C000067	渡辺	章充	在宅気管切開下人工呼吸器療法導入後に死亡した症例に関する検討
				5-01	C000057	追木	宏宣	穿孔性虫垂炎、汎発性腹膜炎による敗血症性ショックから心肺停止に至った1例
				5-02	C000100	馬場	徳朗	腫瘍形成性虫垂炎に対するInterval appendectomyの適応の変遷とその効果に関する検証
				5-03	C000027	久松	千恵子	幼児期に発症した虫垂炎症例の検討
				5-04	C000173	坂本	浩一	当科における急性虫垂炎の検討
肝・胆	6月22日(土)	10:00-10:40	第5会場	5-05	C000016	堀江	貞志	発熱・右下腹部痛を主訴に受診した盲腸憩室炎の8歳男児例
				5-06	C000020	武井	美貴子	右側結腸憩室炎の2症例
				5-07	C000087	河野	淳	脾臓を温存できた遊走脾捻転、脾梗塞の一例
				5-08	C000076	辻本	直樹	当科で経験した良性一過性門脈ガス血症5例の検討
栄養・消化器	6月22日(土)	10:40-11:50	第5会場	5-09	C000007	平山	裕	学童期に発症した胆嚢捻転症の1例
				5-10	C000178	落合	佳代	胆嚢捻転症が疑われた胆嚢結石症の1乳児例
				5-11	C000144	石川	未来	遅発性横隔膜ヘルニアの1例
				5-12		黒崎	剛史	病歴・身体所見と画像診断が一致せず、消化管内視鏡と試験回復で確定診断に至った肥厚性幽門狭窄症の1例
				5-13	C000101	林田	真	無脾症候群における急性胃捻転に対する治療戦略
				5-14	C000224	内藤	朋巳	意識障害を主訴に救急外来を受診し、緊急上部消化管内視鏡を行った十二指腸潰瘍の1例
				5-15	C000097	橋田	祐一郎	緊急手術を要した腸回転異常症の臨床的検討
				5-16	C000185	杉山	洋平	若年性ポリープの診断における超音波検査の有用性
誤飲	6月22日(土)	13:10-13:50	第5会場	5-17	C000222	北島	翼	小児摂食障害における入院初期治療の検討
				5-18	C000125	源川	結	過去3年間における当院での誤飲症例の検討
				5-19	C000197	横田	侑紀	2年9か月間に当院小児科で経験した異物誤飲93例の臨床的検討
気道	6月22日(土)	13:50-14:40	第5会場	5-20	C000099	河本	敦	今、はやりの加熱式たばこがあぶない!~最近のたばこ誤飲事情~
				5-21	C000198	細川	崇	術中透視を併用し腹腔鏡下に摘出した針状腹腔内異物の1例
				5-22	C000074	沼澤	雅哉	異物による小児の口腔咽頭外傷をいかに予防するか -当院の診療経験から-
				5-23	C000045	佐々木	潔	ドクヘリ搬送された異物吸引の乳児例
				5-24	C000044	島本	太郎	繰り返す肺炎、無気肺の原因が気道異物であった幼児例
				5-25	C000158	井上	将太	人工呼吸管理を要した急性声門下喉頭炎の学童児例
循環・呼吸	6月22日(土)	14:40-15:50	第5会場	5-26	C000156	石川	順一	当院救急部における過去五年間の呼吸管理を必要とした小児縦隔腫瘍症例
				5-27	C000065	中崎	公隆	異物誤飲で救急外来(ER)を受診したことで、偶発的に早期の心筋炎を診断しえた症例
				5-28	C000124	渡部	誠一	小児フルガダ症候群の発熱時対応
				5-29	C000130	野中	美喜	小児集中治療室における先天性心疾患患児急変予測基準の検討
				5-30	C000187	星野	健司	感染性心内膜炎に合併した導管塞栓に対し緊急バルーン解除で救命した1例
				5-31	C000015	奥村	能城	激しい腹痛を主訴に来院した肺葉外肺分画症捻転の一例
教育・訓練	6月22日(土)	15:50-16:50	第5会場	5-32	C000103	板橋	佳恵	High flow nasal cannula治療導入前後におけるRSウイルス感染症による呼吸障害の臨床的検討
				5-33	C000160	吉田	浩太	当院で緊急気管切開術を要した2例の検討
				5-34	C000184	藤原	直樹	中学生に対する蘇生講習(PUSHコース)の効果
				5-35	C000049	稲田	早苗	小児急変対応セミナーの有効性と課題(第3報) -胸骨圧迫の質に焦点をあてて-
				5-36	C000056	森河	万莉	小児病棟看護師を対象としたシミュレーション教育の有用性
				5-37	C000046	大西	志麻	救急外来での喘息教育の実行可能性および有用性の検証
	5-38	C000093	谷口	昌志	大規模災害訓練並急性期における災害時小児周産期リエゾンの役割~訓練参加者の立場から~			
	5-39	C000055	丸山	朋子	大規模災害訓練並急性期における災害時小児周産期リエゾンの役割~訓練企画の経験から~			